

Week of December 22 - He Will be Called the Son of the Most High　　Special Lesson

知り合う

子どもの頃にもらったプレゼントで、今でも心に残っているものは何ですか？それはなぜですか？

聖句 - ルカ福音書 1:26-45 (聖書協会共同訳)

26: ダビデ家のヨセフと言う人のいいなずけであるおとめのところに遣わされたのである。そのおとめの名はマリアと言った。27: 天使は、彼女のところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」28: マリアはこの言葉にひどく戸惑って、これは一体何の挨拶かと考え込んだ。29: すると、天使は言った。「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。30: あなたは身ごもって男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。31: その子は偉大な人になり、いと高き方の子と呼ばれる。神である主が、彼に父ダビデの王座をくださる。32: 彼は永遠にヤコブの家を治め、その支配は終わることがない。」33: マリアは天使に言った。「どうして、そんなことがありえましょうか。私は男の人を知りませんのに。」34: 天使は答えた。「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを覆う。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる。35: あなたの親類エリサベトも、老年ながら男の子を身ごもっている。不妊の女と言われていたのに、もう六か月になっている。36: 神にできないことは何一つない。」37: マリアは言った。「私は主の仕え女です。お言葉どおり、この身になりますように。」そこで、天使は去って行った。38: その頃、マリアは出かけて、急いで山里に向かい、ユダの町に行った。39: そして、ザカリアの家に入ってエリサベトに挨拶をした。40: マリアの挨拶をエリサベトが聞いたとき、その胎内の子が躍った。エリサベトは聖霊に満たされて、41: 声高らかに言った。「あなたは女の中で祝福された方です。胎内のお子様も祝福されています。42: 私の主のお母様が、私のところに来てくださるとは、何ということでしょう。43: あなたの挨拶のお声を私が耳にしたとき、胎内の子が喜び躍りました。44: 主がおっしゃったことは必ず実現すると信じた方は、なんと幸いでしょう。」45: そこで、マリアは言った。／「私の魂は主を崇め

(聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会 Japan Bible Society, Tokyo 2018)

学び

1. 今日の聖句は、イエスについて何を教えていますか？（イエスが救い主であり、神の御子であり、王であることは、今日の聖句から、どのようにして分かりますか？）

2. 36節で天使は「神にできないことは何一つない」と言います。この言葉は神の力や性質についてのあなたの理解にどのような影響を与えましたか？

3. 神の計画に従うことによって、マリアはどのようなリスクを負うことになりましたか？彼女の応答から、信仰と従順について何を学べますか？

4. マリアと胎内のイエスに対するエリサベツの反応（39-45節）についてどう思いますか？彼女の反応はこの出来事の重要性を示していると思いますか？

5. クリスマスのメッセージは、神を信頼し、神の計画に委ねることの大切さを強調しています。マリアは、具体的に、どのようにそれを実践しましたか？

分かち合い

クリスマスのメッセージは「祝福される」ということに対する私たちの一般的な考え方にどのような形で再考を迫りますか？

このメッセージを踏まえて、今年のクリスマスシーズンに、イエスという贈り物をより深く愛し、より神を信頼し、より神に従順に生きるために、具体的にできることをひとつ考えてください。

成長

神に感謝することと具体的な祈りのリクエストを共有し、励まし合いましょう。

クリスマスのメッセージを用いて、イエスについて、ひとりの人に伝えることができるように、その人の名前を挙げて、祈りましょう。